

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立東部特別支援学校 伊豆高原分校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	44人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子黒板（プロジェクター型）
使用学年及び人数	高等部全生徒 44人
使用頻度	週1回程度
使用状況	<p>★小グループでの学習をする際、教室の他にこのパソコン室を利用。</p> <p>①総合的な探究の時間 ・教材の提示、課題説明提示、生徒が調べたことやまとめたことの提示</p> <p>②生活単元学習 ・教材の提示、課題説明提示、生徒が調べたことやまとめたことの提示</p>
物品の使用による 変化や効果	<p>グループ別学習で使用する部屋にプロジェクターを設置していただいたことで、生徒にわかりやすい大画面での提示を容易にすることができる部屋が増えた。実態に応じた小グループに分かれての学習を計画しやすくなり、個に応じたペースや内容での指導ができるようになったことで、それぞれの生徒の集中力が持続するようになった。動画を途中で止めたり、細部を拡大したりできるので、簡単に、わかりやすい説明や指導ができています。</p>
今後の活用の 見通しや課題	<p>準備が容易でスペースを取らずにホワイトボードに映し出すことができるので、今後も使用頻度が増していくと思われる。</p> <p>申請時には、生徒自身が操作しての授業展開や画面分割を利用しての活用なども想定していたが、授業の中で効果的に活用できるまでには至っていない。今後、更に効果的に活用するための研修を継続してすすめていきたい。</p>
その他 希望や所感など	<p><生徒より> ・大きくて見やすく、わかりやすい。</p> <p><教員より> ・プロジェクターが設置されている部屋が増えて、グループ学習でも使用できるようになり、学習指導しやすくなった。学習準備時間が減った。 ・画像を拡大できるので、説明しやすい。</p>

2. 活用の様子



①総合的な探究の時間

・3年生の1グループが平和学習をしている様子。戦争に関する画像が映し出され、説明を聞いている場面。写真は防空壕の写真。



②生活単元学習

・校外学習の目的地「本願寺」について、調べた内容を全体に映し出して、グループの全員で確認している様子。